



# 建交労

2021年春闘・月間推進ニュース

## 21年春闘勝利!3.4 中央行動を実施 厚労大臣宛個人請願書を4,157筆提出

建交労は、3.4 中央行動を実施し、全国トラック部会が衆議院議員会館にて「国交省、厚労省」に対する交渉をおこない、終了後には各政党の国土交通委員に対して議員要請行動を展開しました。厚労省要請の際には、全国の仲間が集めた厚労大臣宛請願署名 4,157 筆を担当者へ提出しました。

また、建設産別対策委員会（ダンプ、労職、セメント・生コン、建設関連、建



足立部会長が請願書を代表提出しました



熊谷組本社にて交渉（東京3月5日）

設現場、重機）は、3月4日～5日に第34次ゼネコン本社要請行動にとりくみ、「鹿島建設、大林組、竹中工務店、熊谷組、鉄建建設」の5社へ「ダンプの使用促進措置の徹底、生コンの適正価格購入、設計労務単価の引き上げに伴う単価改善、重機オペレーターに対する安全対策、週休2日制の徹底及び下請単価の改善、トンネル工事での8時間労働の徹底」など、各部会から多面的な要求と実態にもとづいた改善を求めました。

## 全労連・国民春闘共闘 3.5 決起集会

### くらし・いのち・雇用・生業をまもろう!

全労連・国民春闘共闘は2021年春闘を押し上げる3.5中央総決起集会をオンライン併用で東京・日比谷野音集会場で開催しました。開会あいさつで小畑雅子全労連議長は、「コロナ禍こそ賃金を保障することが経済を回すことにつながる。賃上げの流れをつくりだそう」と力強く訴えました。

その他、日本共産党田村智子参議院議員からの連帯・激励を受け、「福保労、東

京医労連、農民連」の各代表者が決意表をおこない、黒澤幸一全労連事務局長が行動提起をおこない、終了後には国会請願デモを実施しました。

また、同日の早朝には全労連女性部が東京駅北口にて、菜の花宣伝行動を実施し、女性労働者の実態等に関するアンケート集約結果にもとづいた記者発表を実施しました。



さらに前日には、全労連、中央社保協、医療三単産などがとりくんできた「いのちを守る国会請願署名」(24万人分)の提出行動と集会を開催し、コロナ禍で奮闘してきた医療従事者への待遇改善、大幅増員や国に対する医療・介護・福祉予算の財源確保などを求めて国会議員要請行動を実施しました。



## コロナ禍で困窮する建設労働者を守れ 2020 建設アクション要請行動

建交労が参加している 2020 建設アクション実行委員会は3月5日(木)、経済産業大臣に対して「持続化給付金ならびに家賃支援給付金の再給付を求める緊急要望書」を提出し、衆議院第1議員会館で中小企業庁との意見交換を行い、新型コロナウイルスによる経済悪化で困窮する仲間への各種支援策の拡充を訴えました。行動には



34人が参加すると共に日本共産党から笠井亮(衆)、宮本徹(衆)、伊藤岳(参)議員が激励に駆けつけました。参加者を代表して千葉土建・赤羽根書記次長が、組合員から集約したアンケート結果をもとにコロナ禍において苦しい仲間の実態と持続化給付金と家賃支援給付金の再給付、一時支援金の建設業への対象拡大を訴え、各組織代表が要請書を提出しました。中小企業庁からは「再給付ではなく、一時支援金での対応を考えている。各種補助金や無利子担保の融資等で、事業継続を支えていきたい」と回答。菅政権に同調した対応に終始しました。

